

## はじめに

突然ですが、皆さんは「英語ができる人」になりたいですか？この本を手を取っているということは、少なくとも英語力をもっと高めたいと考えているのではないのでしょうか？

では、どうすれば英語が得意になるのでしょうか？それは、英語が苦手な人がやりたがらないことをやることです。

英語が苦手だという人に共通する特徴のひとつは、頭の中にある英文の数が圧倒的に少ないという点です。彼らの多くは、単語帳で英単語の暗記は熱心にするのですが、英文そのものをマスターしようとは思いません。そして「こんなにも英語を勉強しているのに、どうして英語が得意にならないのだろうか？」と悩み続けるのです。

一方、英語が得意な人は、ほぼ例外なく多くの英文が頭の中にインプットされています。彼らは、決して「覚え惜しみ」をしません。単語にしても、その意味を覚えただけでは自分の伝えたいことを的確に表現できないことを知っているので、可能な限りセットフレーズまたは文ごと習得しようとします。本番の入試においても、和文英訳・四択の文法語法問題・語句整序作文・長文の空所補充問題・下線部和訳などは、いずれも英文をたくさん知っている受験生のほうが圧倒的に有利だと断言できます。

この本は、大学入試の合格可能性や検定試験のスコアを短期間で上げることを目標にして作られました。とはいえ、機械的で退屈な英文のまる暗記を僕は皆さんに強いるつもりはありません。皆さんが感じるであろう英語の「なぜ？」に徹底的にこだわり、一つひとつの英文を納得しながら完全理解できるよう、従来の参考書ではありえないほど詳しい解説をつけました。友人のクリスにも執筆に参加してもらい、ネイティブスピーカーならではの考えも、多くの解説に反映させることができました。

この本を通じて、揺るぎない英語力を身につけてください。1冊マスターした先には、今までとは違う英語の世界が輝いていることを約束します！



## 本書の特長と効果的な利用法

入試で頻繁に出題される英文を厳選しました。これら一つひとつの英文を「まる暗記」することなく、類似語の微妙な違いから冠詞の使い分けに到るまで、納得しながらマスターできるよう詳細に解説しています。覚えやすく、忘れにくく、また応用もきくはずです。

英語が比較的得意な人は、左側の日本語を見て、右側の英文が言えるかどうかトライしましょう。言えなかった場合は、英文番号下のチェック欄に印をつけておきましょう。わかっているものとそうでないものとを区別しておくことは、復習の際に有益です。その後、解説を熟読しましょう。新たな知識が得られるかもしれませんが、英文の理解がより深まるはずです。一方、あまり英語が得意でない人は、事前に解説を熟読した上で、〈日本語→英文〉が言えるかどうか挑戦するといいかもかもしれません。一度でスムーズに言えなくても構いません。むしろ何度も反復練習することが語学学習においては最も大切です。

英文は全部で 500 あります。たとえば 1 日に 10 個ずつ英文を習得したとすると（土日は復習日）、10 週間、つまり約 2 か月半で 1 冊を終了できます。もちろん自分のペースで進めてもらって構いませんが、ゴールの日を設定して 1 日あたりの数を決めるとうまくいきやすいはずですよ。

学校の行き帰りの電車やバスの中で、「単語集」を勉強している人はよく見かけますが、これからは「英文集」である本書にもトライしてください。細切れ時間をうまく活用すれば、塵も積もれば山となるでしょう。

日本語と英文の音声が無料でダウンロードできます（ダウンロード方法は次々ページ）。耳からも英文をマスターしましょう。記憶に残りやすいだけでなく、リスニング対策にも有効です。





## もくじ

6	1 動詞 _VERB
36	2 時制 _TENSE
48	3 助動詞 _AUXILIARY VERB
64	4 受動態 _PASSIVE VOICE
72	5 仮定法 _SUBJUNCTIVE MOOD
82	6 動名詞 _GERUND
92	7 不定詞 _INFINITIVE
110	8 分詞 _PARTICIPLE
124	9 関係詞 _RELATIVE
142	10 接続詞 _CONJUNCTION
162	11 疑問詞 _INTERROGATIVE
170	12 代名詞 _PRONOUN
182	13 名詞 _NOUN
188	14 前置詞 _PREPOSITION
208	15 否定 _NEGATION
220	16 形容詞・副詞 _ADJECTIVE, ADVERB
230	17 比較 _COMPARISON
250	18 倒置・省略・強調・挿入など _INVERSION, ELLIPSIS, EMPHASIS, PARENTHESIS, etc.





## 本書で使われる記号と表記

[ ]	直前の語と言い換え可能
( )	省略可能・補足説明
x	間違った表現 [例] *enjoy to swim
one's	所有格
oneself	再帰代名詞
S・V・O・C	主語・動詞・目的語・補語
do	動詞の原形
to do	不定詞
doing	動名詞・現在分詞
done	過去分詞
🔊 Track 00	音声ファイルのトラック番号



## 無料音声ダウンロードについて

パソコンから下記の URL にアクセスし、該当する書名をクリックしてください。

<http://www.kawai-publishing.jp/onsei/01/index.html>

ホームページより直接スマートフォンへのダウンロードはできません。パソコンにダウンロードしていただいた上で、スマートフォンへお取り込みいただきますよう、お願いいたします。

- ・ファイルは ZIP 形式で圧縮されていますので、解凍ソフトが必要です。
- ・ファイルは、MP3 形式の音声です。再生するには、Windows Media Player や iTunes などの再生ソフトが必要です。
- ・1章が1つのファイルになっています。  
Track01 ~ Track18 の全 18 ファイルで構成されています。
- ・掲載されている音声ファイルのデータは著作権法で保護されています。データを使用できるのは、ダウンロードした本人が私的に使用する場合にに限られます。
- ・本データあるいはそれを加工したものを譲渡・販売することはできません。

お客様のパソコンやネット環境により、音声をダウンロード・再生できない場合、当社は責任を負いかねます。ご理解とご了承をいただきますよう、お願いいたします。

028



その捜査官たちは銃を求めて彼の家を搜索した。

① search を使って8語で

- ① search A for B 「B を求めて A の中を探す」が基本ですが、部分を切り取って search A 「A の中を探す」や search for B 「B を求める」のような使い方もできます。

029



私は父に新車を買うよう説得した。

- ① talk は、talk to A 「A(人)に話しかける」や talk about A 「A(事)について話す」のような自動詞用法のみならず、talk A into doing 「A(人)を説得して～させる」という他動詞用法もあります。

030



給料日まで五千円貸してくれない？ ① Can you で始めて

- ① lend 「貸す」は第4文型をとる動詞です。  
 ② もし Can I で始めるなら、borrow 「借りる」を使って Can I borrow 5,000 yen until payday? にすれば、ほぼ同じ意味になります。  
 ③ until 「～まで(ずっと)」と by 「～までに」も紛らわしいので注意しましょう。

031



彼女は私に良い知らせをもたらしてくれた。

① give を使って5語で

- ① give O<sub>1</sub> O<sub>2</sub> 「O<sub>1</sub>(人)に O<sub>2</sub>(物)を与える」は第4文型をとる動詞です。  
 ② give me good news は give good news to me にすることができますが、前者は「私に何を与えたか」に、後者は「良い知らせを誰に与えたか」に、意味の重さが置かれます。英語は文末に重要情報がくるのでしたね (⇒027)。



0 100 200 300 400 500

The investigators searched his house for the gun.

② 「捜査官」 an investigator = an agent

I talked my father into buying a new car.

- ② into は「中に入る」ことによって起こる「状態変化」を表し、ここでは父の気持ちが変わり、新車を買うこととなります。
- ③ into の反対語となる out of を使うと「A(人)を説得して～するのをやめさせる」となります。

Can you lend me 5,000 yen until payday?

- ① payday 「給料日」は可算名詞なのですが、まるで不可算名詞のように無冠詞で使われることが多いです。考えられる理由は、day 「日」よりも pay 「(給料の)支払い」のほうが意味の重きが置かれるようになり、抽象名詞と認識されるようになったからかもしれません。
- ② dollars, pounds, euros のように、通例通貨の単位には複数の -s がつきますが、yen には不要です。yens とは言わないので注意しましょう。

She gave me good news.

- ① news 「知らせ」は不可算名詞なので、a good news とは言えません。また、語尾の s は、現在では複数の -s とは考えられていないので、常に単数扱います。